

総製作費70億円。今世紀最大のフライトアクション超大作!

FLYBOYS

フライボーイズ | ジェームズ・フランコ『スパイダーマンシリーズ』 マーティン・ヘンダーソン ジャン・レノ『ダ・ヴィンチ・コード』

監督:トニー・ビル 製作:ディーン・デヴリン『インデペンデンス・デイ』『パトリオット』

ELECTRIC ENTERTAINMENT PRESENTS IN ASSOCIATION WITH SKYDANCE PRODUCTIONS AND INGENIOUS FILM PARTNERS A DEAN DEVLIN PRODUCTION A TONY BILL FILM

"FLYBOYS" JAMES FRANCO MARTIN HENDERSON DAVID ELLISON JENNIFER DECKER AND JEAN RENO CASTING BY JOHN HUBBARD DAN HUBBARD & ROS HUBBARD MUSIC BY TREVOR RABIN

COSTUME DESIGNER NIC EDE FILM EDITOR RON ROSEN PRODUCTION DESIGNER CHARLES WOOD DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY HENRY BRAHAM B.S.C.

CO-PRODUCERS MARC ROSKIN KEARIE PEAK EXECUTIVE PRODUCERS PHILIP M. GOLDFARB DAVID BROWN DUNCAN REID JAMES CLAYTON

PRODUCED BY DEAN DEVLIN MARC FRYDMAN STORY BY BLAKE T. EVANS SCREENPLAY BY PHIL SEARS & BLAKE T. EVANS AND DAVID S. WARD DIRECTED BY TONY BILL

© 2006 ELECTRIC DISTRIBUTION (FLYBOYS) LTD. R RINGS

提供・配給:プレジディオ *presidio* 宣伝:プレジディオ×アルシネタラン 協力:ジェネオン エンタテインメント 2006年/アメリカ/カラー/138分/DOLBY DIGITAL/SDDS/DTS/シネマスコープ

www.flyboys.jp

俺は飛ぶ。
信じるものの為に——。

俺は飛ぶ。信じるものの為に——。

第一次世界大戦時。自らの意思でフランス空軍に入隊したアメリカ人がいた。

彼らはアメリカ人として、史上初の戦闘機パイロットでもあった。

これは、史実に基づく物語である。

FLYBOYS

フライボーイズ

ジェームズ・フランコ『スパイダーマンシリーズ』 マーティン・ヘンダーソン ジャン・レノ『ダ・ヴィンチ・コード』

監督:トニー・ビル 製作:ディーン・デヴリン『インデペンデンス・デイ』『パトリオット』

ELECTRIC ENTERTAINMENT PRESENTS IN ASSOCIATION WITH SKYDANCE PRODUCTIONS AND INGENIOUS FILM PARTNERS A DEAN DEVLIN PRODUCTION A TONY BILL FILM

"FLYBOYS" JAMES FRANCO MARTIN HENDERSON DAVID ELLISON JENNIFER DECKER AND JEAN RENO CASTING BY JOHN HUBBARD DAN HUBBARD & ROS HUBBARD MUSIC BY TREVOR RABIN COSTUME DESIGNER NIC EDE

FILM EDITOR RON ROSEN PRODUCTION DESIGNER CHARLES WOOD DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY HENRY BRAHAM B.S.C. CO-PRODUCERS MARC ROSKIN KEARIE PEAK EXECUTIVE PRODUCERS PHILIP M. GOLDFARB DAVID BROWN DUNCAN REID JAMES CLAYTON

PRODUCED BY DEAN DEVLIN MARC FRYDMAN STORY BY BLAKE T. EVANS SCREENPLAY BY PHIL SEARS & BLAKE T. EVANS AND DAVID S. WARD DIRECTED BY TONY BILL

© 2006 ELECTRIC DISTRIBUTION (FLYBOYS) LTD. R RINGS

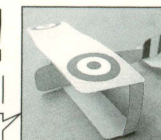
www.flyboys.jp

提供・配給:プレジディオ *presidio* 宣伝:プレジディオ×アルシネタラン 協力:ジェネオン エンタテインメント 2006年/アメリカ/カラー/138分/DOLBY DIGITAL/SDDS/DTS/シネマスコープ

11月17日(土)ロードショー!!

特別鑑賞券¥1,500 絶賛発売中 | 当日:一般¥1,800

劇場窓口・SHIBUYA TSUTAYA! にも買いだめの方先着で特製ペーパーバック型ポストカードをプレゼント!(なくなり次第終了)



JR渋谷駅西口下車
歩道橋で246を越えJTB正面のさくら通り上がる
シアターN 渋谷
www.theater-n.com 03-5489-2592
10:40 13:15 16:00 18:45

有楽町線 ゆりかもめ線「豊洲駅」
アーバンドック ららぽーと豊洲3F
ユナイテッド・シネマ豊洲
<http://www.unitedcinemas.jp/> TEL:03-6219-3000
※上映時間は直接劇場へお問い合わせください。

戦が、21世紀のスクリーンに甦る!

たち。主人公ローリングスを演じるのは、『スパイダーマン』シリーズのハリー・オズボーン役で知られるジェームズ・フランコ。二枚目からナイーブな若者像まで幅広くこなす彼が、無鉄砲な青年が“空の騎士”へと成長していく変化を繊細に表現した。そしてラファイエット戦闘機隊の実際の司令官、セノール大佐に扮するのは、もはや説明不要のフランスの国際派スター、ジャン・レノ。若いパイロットたちの父親代わりというべき頼もしい包容力を発揮しつつ、要所でドラマを引き締める存

在感はずがのひとと云た。一方スタッフにも最高のメンバーが集まった。監督のトニー・ビルは、何と14歳の時に曲技飛行の免許を取得した本物のパイロットでもある。大空の魅力を知り尽くした彼が、観る者に美しい田園地帯を見下ろす鳥のような飛行機の視点を体感させ、格別の映画的快感を提供する。そして監督の長年の友人でもある『インデペンデンス・デイ』(96)のディーン・デヴリンが、プロデューサーとしてこの夢のような企画をまとめあげた。



目で魅了されたローリングスは、英語を理解できない彼女に自分の想いを懸命に伝えようと、訓練の合間を縫って彼女の元を訪れるようになる。

そんな中、トレーニングを繰り返す彼らに遂に初陣の日が訪れる。勇んで基地を立つ彼らだったが、数も質も勝るドイツ軍のフォッカー機は想像を遥かに上回る強さだった。

初の実戦でいきなり複数の仲間を失ったローリングスはショックを隠しきれない。しかし2度目の出陣では敵を撃墜することに成功し、彼らは心身共にパイロットとして着実に成長しはじめていた。当初は反発し合っていた一部の隊員達にも友情が芽生え、新人パイロットと距離を置いていたキャンディもローリングスを認め始める。セノール大佐も彼

らを一人前のパイロットとして見なすようになっていた。

やがてドイツ軍の巨大な飛行船がパリに向かっていているとの知らせが届く。ローリングス、キャンディらはバリ爆撃を阻止するため、急いで基地を飛び立つ。しかし彼らを待ち受けていたのは、これまで以上の犠牲を強いられる最も過酷な闘いだった……

ディオXアルシネテラン 協力: ジェネオン エンタテインメント www.flyboys.jp



第一次世界大戦時の壮絶な空中

第一次世界大戦時、中立の立場を崩さずアメリカがまだ参戦していなかった時に、勇気あるアメリカ人がはるばる海を渡って志願兵として連合軍に加勢し、戦闘機のパイロットとして活躍していたことを知る者は少ない。本作は、当時結成されたアメリカ初の戦闘飛行中隊“ラファイエット戦闘機隊”の実話に基づく戦争アクション超大作だ。勇敢な若者たちの驚くべき大空の伝説を、約70億円の巨費を投じて現代に甦らせた。すべての観客が驚嘆するであろう見せ場は、全編に惜

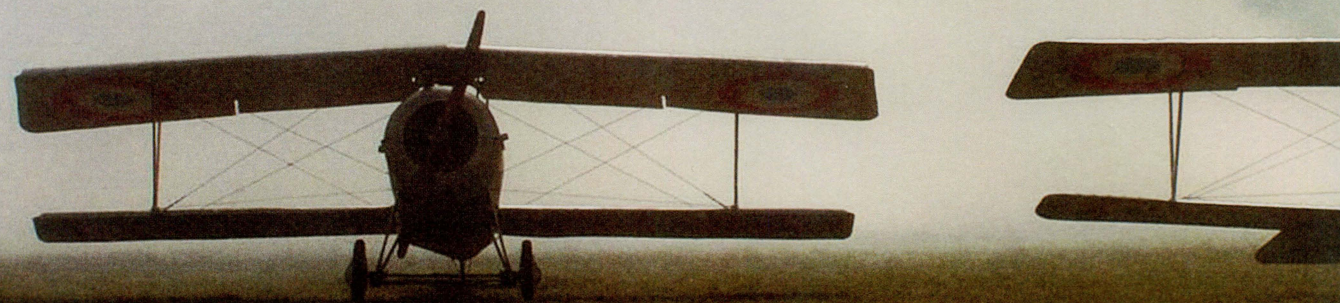
しげもなく盛り込まれた大迫力のスカイアクション。縦横無尽のアクロバティックな戦闘シーンが、胸躍る臨場感たっぷりにスクリーン狭しと繰り広げられていく。また当時の空中戦は“最後の騎士道”とも呼ばれ、敵対するパイロット同士が至近距離で顔を突き合わせ、相手の技量と度胸に敬意を抱き、宿命のライバルとして火花を散らす。息づまる1対1の“決闘”シーンが観る者に息をもつかせない。歴史上の人物にインスパイアされたキャラクターを演じるのは、米仏の選りすぐりの俳優

NOTICE POINT
忠実に再現された戦闘機



本作で実際に飛ぶフランス軍の“ニューポール17”の1機はフロリダの博物館から、2機はイギリスから運ばれ、そしてその他のレプリカは忠実に組み立てられた。その実物大のレプリカには一から組み立てられた80ccのエンジンが付いている。これらの飛行機は、キットからではなく、オリジナルの設計図から組み立てられたものである。

実物大の再現に加えて、製作チームは本物と同じ材料を使って、空中戦のシーンで使用される様々な大きさの飛行機モデルも制作した。その中でも「撃墜王」の名で知られるフォン・リヒトホルフェンの愛機“フォッカー・Dr.1”など、マニア垂涎のドイツ軍戦闘機も完璧に再現されている。



空を翔け、命を賭け、短い人生を駆け抜けた彼らは、何を失い、何を見つけたのか?

1916年、大国アメリカは戦況が激化する第一次世界大戦に参戦せず、中立の立場をとっていた。そんな折、テキサスに住むローリングス(ジェームズ・フランコ)は実家の農場を差し押さえられてしまい、州外への退去を余儀なくされる。彼が旅立った新天地は海の向こうのフランスだった。映画館で上映されたニュース映画で戦闘機パイロットたちの活躍を

知り、そこに自分の未来があると感じたのだ。フランスのラファイエット戦闘機隊に参加したローリングスは、同じくアメリカからやってきた仲間たちと出会う。彼らは皆、パイロットとしては全くの素人だった。司令官のセノール大佐(ジャン・レノ)は彼らを温かく隊に迎え入れる。一方ほとんどのパイロットがすぐに戦死してしまうことを知っている先輩パイロットのキャンディ(マ

ーティン・ヘンダーソン)は、彼らと距離を置くのだった。

ローリングスたちは、早速パイロットとしてのトレーニングを受け始めるが、そうした訓練中にローリングスは不時着事故を起こしてしまう。そんな彼を救助し、介抱したのは、近くに住む若いフランス人女性ルシエンヌ(ジェニファー・デッカー)だった。その美しさにひと

FLYBOYS | フライボーイズ

監督: トニー・ビル 製作: ディーン・デヴリン 出演: ジェームズ・フランコ、ジャン・レノ
2006年/アメリカ/カラー/138分/DOLBY DIGITAL/SDOS/DTS/シネマスコープ 提供・配給: フレンドリー・エンタテインメント 宣伝: フレ

